

令和2年度事業報告書

令和2年4月1日～令和3年3月31日

令和2年度は、前年度から続く新型コロナウイルスの感染拡大が収束せず、兵庫県では令和2年4月7日、令和3年1月7日に緊急事態宣言が発出された。当財団の管理する3施設は、姫路市の決定により休館や貸館の利用制限を行った。同時に、姫路市の強力な要請により自主事業の中止・延期、会期の変更の決定を相次いで行った他、職員の「出勤者の7割削減」の目標を掲げ、在宅勤務や時差出勤を取り入れる等、感染拡大防止に取り組んだ。

緊急事態宣言解除後は、内容に応じた事業実施の可否、適切なキャパシティ設定や感染防止対策等について慎重に情報収集と検討を重ねながら、各施設の特徴を活かしつつ、幅広い年齢層を対象にした舞台芸術公演や、市民参加型事業の継続を模索し実施した。

また、コロナ禍中の施設の管理運営について、年間を通して市民活動に大きな影響が出たため、感染拡大防止対策に特段の注意を払いながら、経費節減や市民に寄り添ったサービスの向上に努めた。

国際交流事業への影響も甚大であった。海外姉妹都市においても新型コロナウイルス感染拡大は顕著であり、生徒の渡航や相互交流による安全確保の困難から、青少年交流事業は全面中止を決定した。そのため、在住外国人に向けた情報発信や多言語生活相談の充実に取り組むと共に、市民の国際交流についての相互理解と友好親善を深める事業を通して、姫路市の国際化と地域ぐるみの国際交流事業を推進し、世界に開かれた魅力ある国際都市の醸成を目指した。

なお、予算書内訳表の事業区分は次のとおりとする。

公益目的事業1（略＝〔公1〕）音楽・演劇等の公演事業

公益目的事業2（略＝〔公2〕）文化振興のための育成普及事業

公益目的事業3（略＝〔公3〕）博物館の企画展示事業

公益目的事業4（略＝〔公4〕）文化施設の貸与及び管理運営事業

公益目的事業5（略＝〔公5〕）国際交流事業

収益事業1（略＝〔収1〕）管理運営施設等の物品販売事業

収益事業2（略＝〔収2〕）文化施設の公益的目的外の貸与及び管理運営事業

その他事業1（略＝〔他1〕）その他の文化・国際交流事業

I 文化振興事業

「育成」「普及」「鑑賞」「交流」の4機能を事業の柱として設定し、すぐれた舞台芸術の提供、地域文化の育成と支援、郷土文化の伝承と保存、芸術文化活動の振興と奨励、文化情報の収集と提供、文化団体や文化人の交流等の文化振興事業を以下のとおり実施した。

1 音楽のまち・ひめじ

東京オリンピック・パラリンピックに向け、2020東京オリンピック・パラリンピック姫路プロジェクトの一環として、姫路の街ににぎわいを創出すべく、「音楽のまち・ひめじ」プロジェクトを推進した。

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	第23回 姫路ジャズフェスティバル 地元ジャズ・バンド大集合 〔公1〕	2.5.5(火・祝) 【1回】 中止	文化センター大ホール	アマチュアバンドが実行委員会形式により企画・立案、広報、チケット販売を行う。 【出演】 メガトーンジャズオーケストラ、サンデー・サウンズ・ジャズ・オーケストラ、スイングキャッツ、兵庫県立高砂高等学校ジャズバンド部 他 計11団体 ※新型コロナウイルス感染拡大防止による中止。
2	小曽根真トークイベント ボーダレスな音楽の愉しみ 〔公1〕	2.5.16(土) 【1回】 中止	文化センター小ホール	6/6(土)の本公演に先立ち、小曽根による音楽の魅力を伝えるトークイベントを開催。 【出演】 お話・演奏:小曽根真 ※新型コロナウイルス感染拡大防止による中止。
3	ブラス・エクシード・トウキョウ コンサート 〔公1〕	2.5.31(日) 【1回】 中止	パルナソスホール	吹奏楽講習会をリニューアル。東京を中心に活動している若手のプロ吹奏楽団「ブラス・エクシード・トウキョウ」によるコンサート。前日には西播吹奏楽連盟に加盟している吹奏楽部を対象に楽器講習会を開催し、さらなる吹奏楽の普及・向上を図る。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止による中止。
4	小曽根真 featuring No Name Horses 〔公1〕	2.6.6(土) 【1回】 中止	文化センター大ホール	小曽根真率いる総勢 15 人のビッグ・バンド、「No Name Horses」の 15 周年記念全国ツアー姫路公演。メンバーはいずれも自身のバンドでリーダーを務める日本を代表するジャズ・ミュージシャン。20 歳の天才ギタリスト山岸竜之介をゲストに迎え、ロック・ファンをも圧倒する大迫力のサウンドを届ける。 【出演】 No Name Horses、山岸竜之介 ※新型コロナウイルス感染拡大防止による中止。
5	こどもオペラ 音楽劇「3びきのこぶた」 〔公1〕	2.8.21(金) 【2回】	文化センター小ホール	0歳から入場できる、親子で一緒に観る・聴く・動いて楽しめるクラシック名曲コンサートを実施した。 【入場者数】 318人(2回)
6	オオサカ シオン ウィンド オーケストラ コンサート (共催) 〔公1〕	2.9.26(土) 【1回】 中止	文化センター大ホール	国内3大吹奏楽団の一つであるオオサカ シオン ウィンド オーケストラ(旧大阪市音楽団)による音楽・吹奏楽の振興を図るコンサート。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止による中止。
7	サイトウ・キネン・オーケストラ ブラス・アンサンブル 〔公1〕	3.2.20(土) 【1回】 中止	文化センター大ホール	小澤征爾総監督が絶大な信頼を寄せるサイトウ・キネン・オーケストラの金管、ティンパニ、打楽器セクションのプレイヤーたちで結成されたブラス・アンサンブルによるコンサート。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止による中止。

8	オーケストラの世界へようこそ 〔公1〕	3.3.28(日) 【1回】 中止	文化センター大ホール	事前にプロ奏者が中学生を対象に楽器講習会を実施、本番ではプロオーケストラと共演するスペシャルコンサート。吹奏楽の育成を図る。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止による中止。
9	懐かしの洋楽ヒットパレード 〔公1〕	2.5.28(木)※ 2.9.24(木) 3.2.14(日) 【年間3回】	キャスパホール	元ラジオ関西DJの三浦紘朗が当時の世相などを織り込みながら進行する、オリジナル音源によるCDコンサート。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止で、5/28中止。他2回は座席数129席に減らし分散着席にて開催。 【入場者数】9/24 107人 2/14 114人
10	パルナソス朝のハーモニー 〔公1〕	年 間 【6回】 2.9.12(土) 2.10.3(土)※ 2.11.14(土) 2.12.12(土) 3.1.9(土) 3.2.13(土)	パルナソスホール	第2土曜日の朝、家族揃って気軽に楽しめるコンサート。 出演者は、「姫路パルナソス音楽コンクール入賞者」や新進演奏家、地元音楽家などの申し込みにより決定し、出演者独自の企画による舞台づくりにより、演奏家の育成を図った。 【出演】 9/12:中西麻梨(ソプラノ)、北野麻里子(フルート)、横谷静美(ピアノ) 10/3:稲本愛歌(チェロ)、田口友子(ピアノ) ※6/13から振替 11/14:横山愛沙美(ピアノ) 12/12:長谷川護、今村佳奈(ピアノ) 1 / 9 : 沖本みなみ(ヴァイオリン)、荒川留璃(ピアノ) 2/13:東方理紗(オルガン) 【入場者】延べ1,137人
11	パルナソスアフタヌーンコンサート 8/1:フルート&ハープデュオ「女神が織りなす歌の翼」 2/27:冬の恋人の日に捧げる歌 〔公1〕	2.8.1(土)※ 3.2.27(土) 【2回】	パルナソスホール	パルナソス朝のハーモニー事業のステップアップ事業として、若手プロ演奏家への舞台提供とともに、より身近に音楽に触れる機会を設けた。 【出演】 8 / 1 : フルード&ハープデュオ Pesca 若山桃子(フルード)、山浦文友香(ハープ) ※5/9から振替 2/27:坂口裕子(ソプラノ)、今岡淑子(ピアノ) 【入場者】延べ277人

〔パルナソス育成普及事業〕

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	第23回 姫路パルナソ ス音楽コンクール 第23回 姫路パルナソ ス音楽コンクール受賞 者演奏会 〔公1〕	2.5.16(土)予選 2.5.17(日)本選 【2回】 中止 2.7.12(日) 【1回】 中止	パルナソス ホール パルナソス ホール	将来性豊かな才能あるアーティストの発掘と、 姫路地域における音楽活動の支援を目的とする コンクール。 審査員長は当財団芸術監督の池辺晋一郎が 務め、今年度より更なる音楽的レベルの向上と 若手演奏家の活動支援の一助を目的とする。 コンクール受賞者と日本センチュリー交響楽団 メンバーによる演奏会。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、コ ンクール・受賞者演奏会ともに中止。
2	ピアノスクール第20回記念 上田晴子×ジャンミッ シエル・キム ピアノデュ オ	2.7.18(土) 【1回】 中止	パルナソス ホール	第20回を記念し、講師を務める上田晴子が、 パリ・エコール・ノルマル音楽院で研鑽を積ん だ若手ピアニストとの師弟共演によりピアノアン サンブルの魅力を贈る演奏会。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止による中止。
3	上田晴子ピアノスクー ル「マスタークラス」 〔公2〕	2.7.19(日) ～7.22(水) 【4回】 中止	パルナソス ホール	ピアノのソロとアンサンブルの公開レッスン。技 術面だけでなく、演奏家としての心構え、音楽 性にまで踏み込んだ密度の濃いクリニック。 【講師】 上田晴子(パリ国立高等音楽院室内楽科教 授・ピアノ科准教授) ※新型コロナウイルス感染拡大防止による中止。
4	室内楽演奏会 三浦章宏&青木篤子 デュオコンサート 〔公1〕	2.8.22(土) 【1回】	パルナソス ホール	姫路市ジュニア・オーケストラのアドバイザー三 浦章宏(ヴァイオリン、東京フィルハーモニー交 響楽団コンサートマスター)、青木篤子(東京 交響楽団首席ヴィオラ奏者)によるデュオコン サート。 【出演】 三浦章宏(ヴァイオリン)、青木篤子(ヴィオ ラ)、鈴木慎崇(ピアノ) 【入場者】136人
5	バロック in 姫路 バッハのすゝめ～オー ル・バッハ・プログラム ～ 〔公1〕	3.1.31(日) 【1回】	パルナソス ホール	ホールの特性、音響の良さを活かし、ホールの 所蔵楽器であるチェンバロなどの古楽器の普 及を兼ねた演奏会。チェンバロ講座で講師を 務める大塚直哉とバッハ演奏の第一人者鈴木 秀美によるオール・バッハプログラム。 【出演】 鈴木秀美(チェロ)、若松夏美(ヴァイオリン)、 大塚直哉(チェンバロ) 【入場者】247人

〔パルナソス楽器普及事業〕

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	オルガン振興事業 オルガンシリーズ Vol.5 オルガンシリーズ Vol.6 オルガンシリーズ Vol.7 ホールオルガニストが 贈るオルガン・アワー オルガンレクチャー&ミ ニコンサート パルナソ スの女王 ～オルガン に会いに行こう～ 〔公2〕	通 年 2.4.19(日)中止 2.10.17(土) 2.12.20(日) 【各1回】 2.7.12(日) 2.11.29(日)	パルナソス ホール	ホールのシンボルであるパイプオルガンの振興を図り実施。 ● オルガン講座 【講師】長田真実(ホールオルガニスト) ・通年コース【受講生】A:8人、B:4人、C:6人、アドヴァンス:6人 延べ24人 ・受講者発表会(3/21)【入場者】111人 ・1日体験(7/5、9/26、1/24 各 A・B・C クラス)【受講者】延べ43人 【観覧者】延べ9人 ●オルガンシリーズ 【出演】 Vol.6 長田真実(オルガン) Vol.7: 牧野美沙(打楽器)、長田真実(オルガン) 【入場者】延べ627人 ● オルガンアワー オルガンシリーズ Vol.5(※新型コロナウイルス感染拡大防止による中止)に代わり 7/12 ホールオルガニストによるコンサートを開催。 【入場者】70人 ●オルガンレクチャー&ミニコンサート 【出演】長田真実、パルナソスホールスタッフ 【入場者】192人
2	チェンバロ講座 〔公2〕	通 年	パルナソス ホール	チェンバロの活用と普及のため、「チェンバロ講座」とチェンバロ演奏に密接な関係のある「バロックダンス講習会」を実施。 ● チェンバロ講座 【講師】大塚直哉(チェンバリスト、東京藝術大学教授) 【受講者】 ・1日体験(8/10、10/18、2/13):延べ22人(観覧:延べ8人) ・入門コース(通年):8人 ・初級コース(通年):11人 ・課題曲ワークショップ(通年):延べ45人(聴講:延べ37人) ・調律ワークショップ:ABC 延べ26人(聴講:延べ84人) ・上級コース(通年):2人 ● バロックダンス講習会 【講師】湯浅宣子 【受講者】 8/23、9/20、12/12 クラス1・2・3:延べ52人 ・受講者演奏会(3/14) 【出演者】27人 【入場者】73人

3	はじめての フルート教室	通 年 中止	パルナソス ホール	楽器を通して、音楽に触れる機会の提供を目的として、初めてフルートを演奏する方を対象にした教室。 【協力】村松フルート製作所 ※新型コロナウイルス感染拡大防止による中止。
4	アウトリーチ事業 〔公2〕	通 年	市内小学校	小学生への音楽教育の一環として、楽器の音を生で聴くことにより、感性を豊かに育むために実施。 ●「オーケストラメンバーによるワークショップ」 【講師】日本センチュリー交響楽団 団員 ・ワークショップ ※新型コロナウイルス感染拡大防止による中止。 ・ミニコンサート(全学年) 豊富小中学校(11/26、11/27) 【参加者】777人 ・ホールコンサートへの招待 交響詩ひめじ演奏会(3/7) 対象6年生 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止による中止。 ●「ポジティブオルガンのワークショップ」 パルナソスホールのオルガンをより身近に感じられるように移動可能な楽器(ポジティブオルガン)を活用。 【講師】長田真実(ホールオルガニスト) 【実施校】野里小(11/4)、伊勢小(11/6) 【参加者】延べ110人※野里小は新型コロナウイルス感染症対策により5.6年生のみ参加。

〔交響詩ひめじ普及事業〕 〔公2〕

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	第31回「交響詩ひめじ」合唱コンクール	3.2.7(日) 【1回】 中止	パルナソス ホール	市制100周年を記念して制作した「交響詩ひめじ」を歌い継いでいくための合唱コンクール。 コンクールに先立ち、12月6日(日)には、池辺晋一郎による公開合唱ワークショップを開催。 【審査員】 池辺晋一郎(財団芸術監督、「交響詩ひめじ」作曲者)、洲脇光一(兵庫県合唱連盟最高顧問)、林裕美子(声楽家) ※新型コロナウイルス感染拡大防止による中止。

2	「交響詩ひめじ」演奏会	3.3.7(日) 【1回】	パルナソス ホール	「交響詩ひめじ」の普及を目的とした、2月の合唱コンクール受賞団体と、交響楽団によるジョイントコンサート。前半はプロの交響楽団によるオーケストラ。 ※コンクールは、新型コロナウイルス感染症拡大防止による中止。また合唱人数を制限のため、関西二期会声楽アンサンブルの12人による演奏となった。 【出演】 トーク:池辺晋一郎 演奏:大阪交響楽団 合唱:関西二期会声楽アンサンブル 【入場者】189人
---	-------------	------------------	--------------	---

〔音楽のまち・ひめじプロジェクト〕

〔公2〕

市内各地において多彩な音楽事業を展開し、まちのにぎわいを創出するとともに、本市における次世代の音楽家を育成。また、音楽事業について、広く周知を図るため、季刊プログラムの発行やホームページで発信を行い音楽の力で姫路を元気にする。

令和2年度は、イーグレひめじでの発達障害支援ワークショップ(新型コロナウイルス感染拡大防止による中止。)や、姫路城周辺施設での「ふらっとお散歩コンサート」(旧姫路ミュージック・ストリート)を実施した。

〔姫路市ジュニアオーケストラ〕

〔公2〕

芸術監督池辺晋一郎の提唱により、幅広い年齢層の若者を対象に、オーケストラへの参加と活動を通して社会性や協調性を養い、姫路市の未来の音楽文化を担う人材へと育成することを目的として、令和2年8月に「姫路市ジュニアオーケストラ」を創設した。

- ◆ オーディション 令和2年7月25日(土)・26日(日)午後2時～午後6時
- ◆ 結団式・初練習 令和2年8月23日(日)午後1時～午後3時
- ◆ お披露目会 令和2年12月13日(日)午後3時～午後3時30分
- ◆ 団員数 39人
- ◆ 練習日数 21回(月3～4回程度、日曜日に実施)
- ◆ 講師 日本センチュリー交響楽団団員、関西在住プロ奏者等

〔ル・ポン国際音楽祭(姫路国際音楽祭)実行委員会事務局業務〕

〔公1〕

市民の間にクラシック音楽を楽しむ土壌を醸成すること、芸術に触れることによる市民文化の振興、青少年の豊かな心の醸成を実現するとともに、姫路の魅力を世界に向けて発信することを目的として開催。平成24年から、赤穂国際音楽祭と共同で開催。

※新型コロナウイルス感染拡大防止による中止。

2 市民文化高揚事業

演劇、古典芸能等の分野において、芸術性の高い鑑賞型の舞台公演を開催するほか、各種の振興事業を実施する。

〔演劇、古典芸能、大衆芸能〕

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	松竹大歌舞伎 〔公1〕	2.4.21(火) 【1回】 中止	文化センター 大ホール	全国公立文化施設協会統一企画「松竹大歌舞伎」西コース。 【出演】片岡仁左衛門 他 ※新型コロナウイルス感染拡大防止による中止。
2	絵本のじかんだよ！ 〔公1〕	2.6.7(日) 【1回】 中止	キャスパホール	NHK Eテレの子ども向け番組オフロスキー役でおなじみの小林顕作による絵本読み聞かせ公演。 【出演】小林顕作 ※新型コロナウイルス感染拡大防止による中止。
3	令和2年度 舞台技術講習会 〔公2〕	2.7.25(土) 7.26(日) 【1回/2日間】	キャスパホール	中学・高等学校演劇部を中心とした演劇に必要な初歩の技術を分り易く学べるワークショップ。一般参加者も受講可。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、姫路キャスパホールでの対面講習からYoutubeを利用した配信方式に変更して実施した。
4	第27回 キャスパ能 〔公1〕	2.8.23(日) 【1回】	キャスパホール	姫路能楽会と共催で会館オープン当初から毎年開催している解説付きの本格的な能楽公演。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、座席数を129席に減らして分散着席にて開催した。 ① 能楽基礎知識解説/演目紹介「小鍛冶」 【講師】上田大介 ②「解説」笠田昭雄 ・能「小鍛冶(こかじ)」上野朝義、江崎正左衛門 他 ・仕舞「道明寺」山田義高 ・「源氏供養」田中章文 ・「花筐狂」上田公威 ・「歌占キリ」吉井基晴 【入場者数】①26人 ②95人
5	第48回 姫路落語会 〔公1〕	2.8.29(土) 【2回】	文化センター 大ホール	桂米朝一門の豪華メンバーによる落語会。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、席の間隔を空けるため、開場を大ホールに変更し実施した。 【出演・演目(出演順)】 桂そうば 「手水廻し」 桂米紫 「大安売り」 桂宗助 「禍は下」 桂米團治 「淀の鯉」 桂南光 「はてなの茶碗」 桂ざこば 「笠碁」 【入場者】2回348人

6	第29回 こころの祭 姫路 〔公2〕	2.11.11(水) 【1回】 中止	市内各所	姫路の隠れた文化をさらに掘り下げるため、自宅、神社、仏閣などを無料で開放していただく全国でもユニークな催し。 実施協力者は6月に公募し決定。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止による中止。
7	第29回 キャスパ寄席 〔公1〕	2.11.21(土) 【1回】	キャスパホール	会館オープン当初から毎年開催している桂米朝一門の中堅、若手による落語会。 演目は、会場の雰囲気により決定。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、座席数 130 席に減らし分散着席にて開催。 【出演・演目(出演順)】 桂二葉 「真田小僧」 桂吉の丞 「七度狐」 桂団朝 「短命」 桂歌之助 「竹の水仙」 桂塩鯛 「ふぐ鍋」 【入場者】124 人
8	名画鑑賞会 〔公1〕	2.12.17(木) ～12.18(金) 【2回】	文化センター 大ホール	優秀映画鑑賞推進事業として、東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵の35ミリフィルムで、邦画4作品を2日に渡り上映した。 17日 「張込み」「悪い奴ほどよく眠る」 18日 「白い巨塔」「黒い画集 あるサラリーマンの証言」 【入場者】2回431人
9	りゅーとびあ発『源氏物語の女たち』 〔公1〕	3.1.14(木) 【1回】 中止	キャスパホール	姫路市出身の笹部博司が脚本・演出の、りゅーとびあ発のリーディングと演劇の融合作品。 【出演】 斉藤由貴、久本雅美、音無美紀子 ほか女優 1 人＋若手男優 1 人。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止による中止。
10	令和2年度第43回姫路市芸術文化賞授賞式 〔公2〕	3.3.19(金) 【1回】	姫路キャッスルグランヴィリオホテル	文化人等の交流の場として開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため授賞式のみ行った。 【入場者】30人
11	キャスパシアタープロジェクト U-25 が挑戦する、新しい演劇のカタチ 音楽劇「シンデレラ」 〔公1〕	3.3.27(土) 3.28(日) 各日 ① 13:00 ② 16:00 【4回】	キャスパホール	中学生から25歳までの参加者が、演じるだけではなく演劇製作に係る多くの業務(衣装・小道具製作、舞台美術考案、演出助手、広報宣伝など)に携わりながらプロの演劇人らと共に「音楽劇 シンデレラ」を創り上げ上演した。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、座席数を減らして分散着席にて開催した。 【入場者】497人 内訳: 27日 ①132人 ②92人 28日 ①135人 ②138人

12	文化事業連絡会 〔他1〕	年 間 【2回】	県内文化会館	近隣の文化会館との情報交換と交流や今後の連携公演などを計画。
13	友の会事業 〔他1〕	通年		財団事業の入場券販売促進を目的として設立した友の会の運営。また、他の主催者が行う事業のチケットの作成、販売業務を行う。販売業務を行う。友の会限定の四国こんぴら歌舞伎大芝居鑑賞ツアー中止。

3 総合文化雑誌「BanCul」(バンカル)の発行 〔公2〕

「BanCul」を継続発行し、播磨の文化を全国へ向け発信する。季刊3, 800部

- ① 116号(夏号) 特集:播磨の日本遺産 赤穂の塩
- ② 117号(秋号) 特集:はりまの紅葉
- ③ 118号(冬号) 特集:播磨の民家 千年家から洋館まで
- ④ 119号(春号) 特集:室津道をたどる 姫路から室津まで

4 「文化情報姫路」の発行 〔公2〕

姫路市とその周辺における舞台、美術、文学等の催物案内、情報を掲載した「文化情報姫路」を毎月発行して市民に提供する。A4版12ページを月刊12, 000部。令和2年5月号から表紙デザインを一新した。

5 文化活動への後援名義等の使用許可、助成等 〔公2〕

姫路市の文化向上に寄与すると認められる団体や個人が実施する芸術文化活動に対して、財団の後援名義の使用を許可するとともに、年間2回の公募を行い、審査のうえ、事業費用の一部を助成金として交付し、芸術文化活動の活発化を図った。

助成金 応募＝52件 交付＝16件(中止36件)

後援名義使用許可＝113件(内訳:音楽66件、美術10件、演劇6件、舞踊7件、映画鑑賞7件、伝統芸能10件、国際交流3件、文学2件、その他2件)

6 播磨学研究助成 〔他1〕

姫路市及び播磨地方の歴史、文化の学際的研究を推進するために、播磨学研究所が実施する各種の事業活動に対し、助成金を支出した。

7 女流王位戦助成 〔他1〕

女流棋士によって競われる将棋のタイトル戦、予選を勝ちあがった挑戦者との5番勝負の第1局を姫路に誘致、市民を対象とした大盤解説。

※新型コロナウイルス感染拡大防止による中止。

8 第75回姫路市民文化祭 〔公1〕

交響楽、器楽、吹奏楽、合唱、バレエ、邦楽、舞踊、能楽、民謡、詩舞道、演劇、茶華道、俳句、盆栽など各分野で活躍する郷土の約240団体、約7, 000人の参加を得て23の催物を開催し、日頃の練習成果を披露して市民に鑑賞してもらう文化の祭典。

開 催 日:11月1日(日)～11月22日(日)※新型コロナウイルス感染拡大防止による中止。

開催場所:文化センター、キャスパホール、パルナソスホール、市民会館、勤労市民会館

9 芸術文化賞選考 [公2]

姫路市を中心に活躍、若しくは姫路市の芸術文化の振興に貢献した個人又は団体を顕彰するために、姫路市芸術文化賞の選考を行った。表彰式は、令和3年3月19日(金)に開催された第43回姫路市芸術文化賞授賞式で行った。

(1) 選考委員会

(2) 選考結果

芸術文化大賞：楠田立身（短歌）

芸術文化賞：丸山きみよ（ボタニカルアート）

芸術文化年度賞：松崎晟山（邦楽）、姫路薪能奉賛会（能楽振興）

芸術文化奨励賞：山中歩夢（ピアノ）

10 美術工芸館学芸普及事業

書写の里・美術工芸館において、企画展や体験教室などの学芸普及事業を実施した。

(1) 企画展 [公3]

展覧会名	会期	内容
【コーナー展示】 全国郷土玩具めぐり 佐賀県の諸玩具	2.6.2(火) ～8.27(木) 75日間	神埼の尾崎人形、武雄の弓野人形、鹿島の能古見人形、唐津の曳山やこまなど108点を展示した。なお、臨時休館に伴い会期を変更した。 【入場者】2,551人
【春季特別展示】 時をかざった陶磁 ー中国文明の美	2.6.2(火) ～8.30(日) 78日間	高い技術水準で時代を超えて美しく輝きを放つ中国陶磁は、日本でも根強い人気がある。戦国時代の黒陶、後漢時代の灰釉陶、南朝時代越州窯の青磁、唐時代の三彩・緑釉、北宋・遼時代の白磁・青白磁・三彩、南宋・金時代の青磁・黒釉搔落、明時代の染付・法花など、本展では、コレクター所蔵の作品97点で中国陶磁史を通覧しその魅力を紹介した。なお、臨時休館に伴い会期を変更した。 【入場者】2,773人
【夏季特別展示】 夏休み子どもミュージアム～すごい技をみてみよう～	2.7.18(土) ～8.30(日) 38日間	工芸品に親しむことを目的に、主に夏休みの小中学生を対象にした展覧会。8回目となる今年は「工芸の技」をテーマにして館蔵の工芸品480点を展示した。 【入場者】1,500人
【コーナー展示】 全国郷土玩具めぐり 福島県の諸玩具	2.8.29(土) ～12.17(木) 94日間	久之浜張り子、土湯こけし、三春人形、赤べこ、中湯川人形、会津地方の唐人形など97点を展示した。 【入場者】7,198人
【特別展示】 2020年 播磨工芸美術展(併設公募展)	2.9.5(土) ～10.18(日) 38日間	播磨在住の現代工芸作家グループ「播磨工芸会」12人による陶芸・染織・漆芸・革工芸の新作26点を展示。併せて工芸分野の作品を広く公募し、審査のうえ優秀作品を展示する公募展(旧：播磨・工芸ビエンナーレ)を開催し、優秀作品41点を展示することで新人工芸作家の育成・発掘を図った。 【入場者】3,135人

【常設展示】 清水公照すみ・いろ・つち	2.9.5(土) ～10.18(日) 38日間	平成11年に没した当館初代名誉館長で姫路市出身の清水公照は、奈良東大寺最高位の別当を務め「すみ・いろ・つち」と題し書や墨画、泥仏(どろぼとけ)と呼ばれる陶芸作品を制作した。春季特別展示の延長に伴い会期を短縮して55点を紹介した。 【入場者】3, 135人
【企画展示】 播磨地域の工芸品 ー播磨の刳物師・山名秀圭生誕 100 年ー	2.10.24(土)～ 12.13(日) 44日間	播磨を代表する刳物師の市川周道は小竹斎と名乗り一門を形成した。その最後の門下生であった山名秀圭は惜しくも平成31年に没したが、99歳の最後まで制作に勤しんだ。その功績を盆や短冊掛など、小竹斎門下作品もあわせた60点でたどりつつ播磨の木工芸を通覧した。春季特別展示の延長に伴い会期を変更した。 【入場者】3, 570人
【秋季特別展示】 漆うるわし ー書写塗・竹田塗・丹波漆ー兵庫県下の漆	2.10.24(土) ～12.24(木) 52日間	木製工芸品の補強と装飾に欠かせない漆は、時を経て技法が多様化し各地で独自の発展を遂げた。本展では漆と漆器をテーマに、書写山圓教寺(姫路市)に伝わる書写塗や、竹田城跡(朝来市和田山町)の麓で作られていた竹田塗、丹波(兵庫県北東部から京都府北部)の名を冠して生産されている京都府福知山市夜久野町の丹波漆など兵庫県を中心とした「うるわしい漆」について298点で紹介した。 【入場者】3, 983人
【企画展示】 はりこ絵付けコンクール展	2.12.5(土) ～12.20(日) 14日間	姫路はりこのお面や人形に、参加者が自由に絵付けをしたオリジナルはりこのコンクール。4人が入賞し14人の募集作品を展示した。 【入場者】800人
【コーナー展示】 全国郷土玩具めぐり 和歌山県の諸玩具	2.12.19(土) ～3.4.15(木) 89日間	御坊人形や熊野古式鯨舟のミニチュア、海南の紀州びな、熊野速玉大社のなぎ人形など92点を展示した。 【入場者】8, 578人
【冬季特別展示】 今森光彦ー自然と暮らす 切り紙の世界	3.1.6(水) ～4.4(日) 75日間	今森光彦(いまもり・みつひこ/1954年大津市生まれ)は、熱帯雨林や砂漠などの世界各地で、生物の生態を追う著名な写真家であり、同時に「切り紙」の世界でも新たな境地を切り開いている。また「里山」をテーマに、ジャンルの垣根を越えて人と自然の関係を様々な角度から追い続けている。本展は、自然に寄り添いながら生活続ける今森氏の暮らしの紹介と共に、精選された切り紙の最新作品および写真作品151点を展覧した。 【入場者】7, 229人
私のいっぴんギャラリー	通 年	公募により、工芸分野の市民作品・コレクションを2週間ごとに一品(いっぴん=逸品)ずつ展示した。 【応募者】12人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月5日(木)から5月31日(日)まで臨時休館した。(※6月1日(月)は通常の休館日)

※会期の日数は休館日を除く。

(2) イベント、各種体験教室の実施 [公2]

当館及び周辺施設への観光者の増加を図るため、自然豊かな書写山の魅力を発信し、関係団体と連携の上、季節を通じて各イベントを実施した。

- | | | |
|------------------------|-------------|-----------|
| ① 書写山新緑まつりイベント | 5月3日(日)陶芸教室 | 臨時休館に伴い中止 |
| ② 開館26周年記念イベント | 7月5日(日) | 中止 |
| ③ 秋の文化祭 | 11月下旬 | 中止 |
| ④ 書写山もみじまつり・関西文化の日イベント | 11月中旬 | 中止 |

また、陶芸、染織、革細工、版画、工作教室など、見るだけでなく体験できる教室を通年で実施した。【参加者】238人

(3) 伝統工芸の製作実演 [公2]

姫路の各伝統工芸の魅力を紹介する目的で、職人による製作実演を館内で実施する。

実 演: 姫路はりこ、姫路こま、姫山人形等の製作

実演日: 土曜日、日曜日、祝日、金曜日(一部不定期)【実施日数】延べ254人

(4) 常設展示や企画展示の付帯事業として図録等関連商品の販売を行った。 [収1]

II 国際交流事業

地域ぐるみの国際交流の推進により多文化共生社会の実現を図るため、地域住民の国際教養の普及啓発、海外都市との友好交流、国際交流情報の収集と提供、外国人受入態勢の整備及び在住外国人の交流などの事業を実施した。

1 地域住民の国際教養の普及啓発に関する事業 [公5]

(1) 国際交流ふれあい教室

在住外国人を講師に招き、講演や料理を通して異なる文化・習慣を持つ人々が地域に在住していることを知ってもらい、地域の国際化について考える機会を提供した。年1回実施。

・レバノン系アメリカ人の視点から見るレバノンの食と文化 おまけに、少し英語も勉強しましょう！【参加者】17人

(2) 国際理解出前講座

在住外国人や海外生活経験者を公立の小中高等学校又は公民館等へ派遣し、スライド等を用いた講演を通して、市民の国際理解を深める機会を提供した。年17回実施。

【参加者】715人

2 海外諸都市との友好交流に関する事業

(1) 友好親善事業 [他1]

姉妹都市等との友好交流を通して、両市の市民交流、市民の異文化理解を図る。

- ① 海外からの来姫者対応(随時)
- ② 昌原市姉妹都市提携20周年記念訪問団派遣
※新型コロナウイルス感染拡大防止による中止。
- ③ シャルルロア市訪問団受入
※新型コロナウイルス感染拡大防止による中止。

(2) 青少年交流事業 [公5]

① 青少年派遣

※新型コロナウイルス感染拡大防止による中止。

姉妹都市名	派遣者	人数	時期及び期間
フェニックス市	高校生	0	中止
シャンティイ城・シャルルロア市	中学生	0	中止
昌原市	中学生	0	中止

② 青少年受入

姉妹都市名	受入者	人数	時期及び期間
フェニックス市	高校生	0	中止
昌原市	中学生	0	中止

③ 派遣生OBへの活動支援（随時）

④ 海外姉妹都市青少年交流40周年記念誌

昭和55年(1980年)にアメリカ・フェニックス市へ姫路市の高校生10人を親善大使として派遣してから40年を迎えたことを記念し、記念誌を発行した。

【部数等】A4判12ページ 2,000部

⑤ アメリカ・フェニックス市、オーストラリア・アデレード市とのオンライン交流

(ア)フェニックス市が主催する姉妹都市オンライン交流に参加した。

【参加者】フェニックス派遣生OB5人

(イ)アデレード市の小学校とオンラインで交流した。

【参加者】アデレード派遣生OB7人

⑥ フラットスタンレープロジェクト

姉妹都市アデレードの小学生と姫路市の小学生が自分の分身である紙人形を送りあって交流した。

- ・Morgan 小学校と広畑小学校
- ・Eden Hills 小学校と姫路市小学生(公募)

⑦ 海外姉妹都市交流写真展

イオンタウン、ゆめタウンなど、これまで開催したことがない場所で写真展を開催し、市民に青少年交流事業の周知を図った。

- ・ピオレ姫路 7月27日(月)～ 8月 7日(金)
- ・ゆめタウン姫路 8月21日(金)～ 9月 4日(金)
- ・イオンモール姫路大津 9月 9日(水)～ 9月23日(水)
- ・イオンモール姫路リバーシティ 9月26日(土)～10月 9日(金)
- ・イオンタウン姫路 10月14日(水)～10月27日(火)

⑧ 「わたしの国際交流」写真展

国際交流の素晴らしさや大切さを市民に広く伝えるため、国際交流をテーマにした写真展を開催した。【応募作品数】77点 【展示数】33点

- ・イーグレひめじ1階 10月22日(木)～11月 4日(水)
- ・姫路市役所1階 1月15日(金)～ 1月29日(金)

⑨ フェニックス写真展

初めて青少年を派遣した海外姉妹都市であるフェニックス市を紹介する写真展を開催した。また、ゆめタウン開催期間中の週末にはネイティブアメリカンの魔除けであるドリームキャッチャーを作るワークショップを実施した。

- ・ゆめタウン姫路 11月 9日(月)～11月15日(日)
- ・姫路市役所1階 1月 5日(火)～ 1月14日(木)

⑩ 海外姉妹都市スタンプラリー

児童に海外姉妹都市を知り興味を持ってもらう目的で、小学生やその家族がイーグレひめじ館内を巡り、姉妹都市に関するクイズや工作に挑戦してスタンプを集めるイベントを実施した。

開催日:3月14日(日)

参加者:小学生25人

3 国際交流に関する調査研究及び情報の収集並びに刊行物の発行提供に関する事業

(1) 情報提供事業 [公5]

日本語を読んだり話したりできないことによる在住外国人の情報のハンディキャップを補うため、外国語放送・新聞では得ることのできない地域の情報(行政、教育、経済、社会、生活等)を母国語で提供し、暮らしやすい環境づくりを行った。

種類	発行回数	内容
外国語生活情報誌 「VIVA! ひめじ」	年4回	在住外国人への最新生活情報提供。 6か国語(日・英・スペイン・ポルトガル・ベトナム・中国) 編集ボランティア27人、翻訳ボランティア100人
VIVAの集い	中止	代替として、ボランティア宛にVIVA通信(A3二つ折り)を作成し送付した。

(2) 外国語放送による情報発信 [公5]

FM Genki でベトナム語による生活情報等を提供する。毎週1回。5分程度。

(3) 機関紙等の発行 [公5]

機関紙により事業実施状況を報告した。

種類	発行回数及び部数	内容
機関紙「Hello! Himeji」	年1回 1,500部	活動報告及び会員便り。賛助会員等へ郵送、イベント開催時に配布。
機関紙「SHIRASAGI」	年3回 各400部	最新のイベント情報及びイベントレポート。賛助会員等へ郵送。
海外姉妹都市青少年交流事業報告書	派遣・受入事業中止により発行せず	

(4) 賛助会員への通知 [他1]

機関紙、その他のイベント通知をダイレクトメールにより送付した。

(5) ウェブサイトの運営 [公5]

行事の告知及び報告、在住外国人のための生活情報等をインターネットにより提供する。

(6) 「広報ひめじ」記事のやさしい日本語化 [公5]

日本語が不慣れな外国人に速やかな情報提供を図るため、姫路市の広報誌「広報ひめじ」の中から、外国人に必要な記事を選んでやさしい日本語に翻訳した。「広報ひめじ」に掲載したQRコードから財団ホームページへ移動して、やさしい日本語で記事を読むことができる。

(7) やさしい日本語講座 [公5]

やさしい日本語の認知度を上げるとともに、「VIVA！ひめじ」のやさしい日本語版を発行するための作成ボランティアを養成することを目的として、やさしい日本語の作り方の基礎講座を実施した。

開催日：3月13日(土)・14日(日)

会 場：姫路市市民会館

参加者：54人

ボランティア登録：17人

4 外国人の受入体制の整備及び在住外国人との交流に関する事業 [公5]

(1) 在住外国人のための日本語講座の開催

① 在住外国人のための日本語講座

地域や職場に必要な会話や生活習慣を学ぶために日本語学習の機会を提供し、言葉の面から生活支援を行った。初級6クラス、初中級1クラス、中級1クラス各10人。年2期(9～11月／12～3月)各10回開催。

② 日本語ひろば・日本語ひろばキッズ

日本語ボランティアに活動の場・機会を提供し、生活に必要な日本語学習を希望する在住外国人の細かなニーズ(時間、レベル、目的)に対応した日本語学習支援を行った。

また、小中学生を対象に日本語学習や教科指導を行う「日本語ひろばキッズ」を新設した。

日本語ボランティア 55人、学習者 100人(ひろば) 13人(ひろばキッズ)

(2) 市民公開講座の開催

令和2年度は開催実績なし。

(3) 日本語学習支援ボランティア養成講座

日本語ひろばや地域の日本語教室で活動する日本語学習支援ボランティアを養成するため、日本語指導ボランティアとしての心得や日本語教授法について基礎講座を開催した。

開催日：8月22日(土)・23日(日)・29日(土)

会 場：姫路市市民会館

受講修了者：56人

(4) ボランティアステップアップ学習会

市民及び登録ボランティアを対象に、ボランティア活動の更なるステップアップを目指すための学習会を開催した。年2回開催。

・いくつ知ってる？さまざまな世界の食文化 【参加者】27人

・外国にルーツを持つ児童の学習支援講座 【参加者】25人

(5) 多言語生活相談

多言語による生活相談を実施し、在住外国人の生活面での問題解決を支援する。

外国人相談センター

開催場所	曜日	時 間	内 容
市民相談センター (市役所1階)	月～金曜日	9時～12時、13時～17時	日本語、英語、フランス語
		13時～17時	ベトナム語
	火曜日	13時～16時	中国語、ポルトガル語、 スペイン語
城東町総合センター	火曜日	13時～17時	ベトナム語
高木総合センター	水曜日	13時～17時	ベトナム語
見野の郷交流館	木曜日	13時～17時	ベトナム語

(6) 地域交流事業

地域で暮らす在住外国人と市民が、料理教室等のイベントを通して交流し、相互理解を図り、異なる文化を持つ人々が暮らしやすい地域づくりのための事業を実施した。年2回実施。また同様の事業を実施した2団体に助成した。

- ・教えて！ジホさん＆ジンオさん 韓国2大都市 【参加者】 12人
- ・アシュさん＆パティルさんに学ぶ本当のインド文化 【参加者】 14人

(7) 国際交流フェスティバルの開催

新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。

(8) 日本語スピーチコンテストの開催

新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。

(9) 国際理解映画上映会

市民に、映画を通じて国際問題について考える機会を提供した。

- ・「ソニータ」 11月1日（日）
- ・「リベリアの白い血」 2月28日（日）

(10) フードドライブ

生活に困難を抱える在住外国人の支援を目的に、NPO法人フードバンクはりまと連携して、家庭等で余っている食品などを集めるフードドライブを実施した。外国人相談センター等へ食べることに困っている外国人からの相談があった際に、フードバンクはりまからの支援につなげる足掛かりとなった。

開催日：3月28日（日）

会 場：イーグレひめじ

成 果：食品395.5kgと日用品

5 国際交流関係団体の連携及び支援に関する事業 [他1]

事業名	対象者	内容
ボランティア の登録	一般市民	ホームステイ、通訳・翻訳、日本語指導のボランティアを随時受付する。 令和3年3月末時点：通訳・翻訳ボランティア登録 91件 ホームステイ受入登録 90件
ボランティア による事業 推進	一般市民	ボランティアが主体的に企画・運営する事業について以下のとおり行った。 ① 日本語学習に関しボランティアが学習者を支援した。また、学習者を対象にイベントを実施した。 日本語指導ボランティア 55人 ② 情報誌作成に関しボランティアが企画・取材・翻訳・編集に携わった。

Ⅲ 施 設 管 理 運 営 事 業

指定管理者制度の導入に伴い、制度の趣旨や公立文化施設としての使命を理解し、運営経費の節減に努めるとともに、利用者へのサービスに徹し、使用率、収支比率の向上を図った。また、管理施設内において、前述のようなすぐれた舞台芸術の提供、市民参加型の事業等を実施した。

前年度から引続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため政府の自粛要請に応じた使用中止が相次いだ。緊急事態宣言が発出され、4月9日から5月31日まで休館となり、解除後については、感染対策を万全に期し、入館人数の制限等を行いながら施設の貸出を行った。

文化事業への貸出は、公益目的事業4。文化事業以外への貸出は、収益事業2で管理した。

1 姫路市文化センター(指定管理施設)の管理運営

年間利用者＝ 45,823人 使用率＝大ホール 33%、小ホール 28%

2 姫路キャスパホール(指定管理施設)の管理運営

年間利用者＝ 9,384人 使用率＝33%

3 パルナソスホールの管理運営

年間利用者＝ 21,617人 使用率＝56%

令和2年度 事業報告の附属明細書

令和2年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しない。